

明日の天気は変えられない。でも、明日の政治は変えられる！



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料

創刊号

2007年7月

〈ご挨拶〉

皆様のお陰で、5月1日より、深谷市議会議員として活動しております。6月定例議会が終了いたしました。議席番号3番、福祉文教委員会、議会だより編集委員会委員としても活動させていただいております。これからの議員活動をより多くの方に報告し市民参加のまちづくりを推進して参りたいと思います。今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

〈行政視察〉

火葬場「深丘園」建て替え工事が議論となっている中、葬儀式場の併設の是非に正しい判断ができる様、近隣施設の利用状況、運営状況を調べる目的で、5月17日(木)に、こだま聖苑(美里町)と太田市斎場(群馬県太田市)を視察してまいりました。



調査結果報告書

平成19年5月24日

草の会幹事長
田島 信吉様

清水 健一

1.日程	平成19年5月17日(1日間)
2.調査先	こだま聖苑・太田市斎場
3.目的	「深丘園」建て替えの事業に於いての斎場建設の是非に正しい判断ができる様、近隣施設の利用状況、運営状況などを調べる
4.概要	<p>こだま聖苑は昭和57年11月に総事業費約5億6千万かけて建設され斎場100名収容も併設されております、一方太田市斎場は昭和58年に5億1630万で建設され、その後、式場の利用者も増加し手狭になり平成6年6月に8億3,019万かけて増改築工事が行われました。年間経費は、こだまが約5千283万で太田市斎場が約5千880万とほぼ同じであります。</p> <p>両施設とも斎場は併設しているが、市民の利用状況に大きな隔たりがみられた。平成18年度実績で、こだま聖苑が6組に対し太田市斎場が708組である。この差は利用料金設定が原因ではなく利用者への細かい配慮が原因の様に思われた。例えば、予め椅子を用意してある太田に比べ、こだまは利用者がセッティングし利用後は片付けなくてはならないなど民間的配慮にかけている。また、火葬料金や待合室が無料の太田に比べ有料のこだま、ここに住民サービスの格差を感じました。</p> <p>太田は平成18年度からこだまは平成19年度から指定管理者制度に移行されましたが、利用者サービスに重きを置く太田市は農協に火葬設備に重きを置く、こだまは設備業者に依頼しています。どちらの見解も正しいと思います。それぞれに委託すればと感じました。</p>
5.提言	<p>現在、社会問題になっている少子高齢化の問題、核家族化の問題等にみられるように、我が深谷市も、お年寄り世帯や一人暮らし世帯も多くみられます。その利用に際し公平・公正を保ちながら、住民福祉の視点からも斎場は行政で用意すべきと考えます。</p> <p>また、太田市のように時代の変化により増築に多大な投資をしないように火葬場建設時に併設した方が良いのではと思います。</p> <p>いずれにしても、市民のニーズを吸い上げ検討議論が必要ではと考えます。</p>

〈一般質問〉とは！

6月議会では、18日から20日までの3日間が市政一般質問の日でした。一般質問は、市政のチェックをつかさどる議員の特権であります。私は全ての議会で行っていきます。

この一般質問を行うには、議会開会日(6月4日)の朝9時から午後5時までと、翌日の正午までの間に、発言通告書という用紙に、質問事項、質問要旨(具体的かつ簡明に)、答弁を求める者を書き込み提出しなければなりません。

そして開会日の朝9時前に提出した議員でくじ引きし、その順番を決めるとの説明でしたので、急いで私も提出しましたが、フタを開けたら5名しか提出しておらず、くじの結果、私は4番目となりました。その後、各議員が提出し結局、34名中22名の質問者となりました。

その後おどろいたのが、拝聴会なるものでした。休会日の6月6日がその日でした。答弁する行政側の関係各部署の方々が、どんな質問をするのか、細かく聞いてくるのです。今回、私の質問では約30名の職員に囲まれ、質問を受けました。これは、議会をスムーズに運ぶために必要な事ですとの説明を受け納得しました

一般質問は、最初登壇し行い、席に戻って答弁を受け再質問がある場合は自席で行ない、再々質問までは許されます。そして、どうしてももう1度質問したい場合は、議長の許可を得て行なう事ができます。なかなか思う様な答弁が出て来なく、今回の私は、最後まで行ってしまいました。議員としての私の一般質問は、問い正すというよりは、こうした方が良いのではという提案型で行って参りたいと考えております。



市政報告会のご案内

会の前半は、6月議会の一般質問や議案審査のご報告を中心に行います。

後半は自由討議形式で皆様からの意見や質問を聞かせていただきたいと思います。

7月15日 午後6時30分～8時 小前田上区集会所

7月16日 午後6時30分～8時 花園就業センター

6月18日 清水健一 主な質問と答弁(要約)

園、日々に亘りて以って趣を成す。

郷土の偉人、洪澤榮一翁が残された言葉であります。我、愛する郷土深谷が、いつまでも趣きを持って発展していつてもらいたいという願いを込めた、翁の精神に恥ないよう誠心誠意活動して参ります。

3番清水健一発言通告に基づき質問させていただきます。

1. 深谷市政を大きく左右する行財政改革推進計画の中の「人の改革」について

質問 人材育成では、研修が主体となっておりますが、どのような研修で、どんな成果をあげるのですか？

答弁 目指すべき職員像、求められる能力を明確にし、専門知識や



技能取得と更なる能力の向上を目指し、教育訓練マップに沿って実施し、4半期ごとに検証していく。

質問 新・人事評価制度とはどんなものですか？民間では、上司を部下が評価する逆評価制度等がありますが、考えているのでしょうか？

答弁 まだ検討段階ではありますが、仕事の成果や結果に基づく業務評価と思考、やる気、行動等による能力評価の2つの総合評価制度で考えています。逆評価制度は考えておりません。

質問 市民ニーズに合った研修計画を実施するとありますが、どの様にして市民ニーズを吸い上げるのですか？

答弁 市民の意識調査、市長対話会、市長への手紙、FAX・メールや各課の日常業務の中で寄せられる意見や提言を分析し研修に活用していきます。

2. 小前田駅北中央土地区画整理事業について

質問 私の知っている範囲では、進行中の西部地区完了後（平成22年3月）都市計画決定を目指すとの事ですが、その詳細を聞かせて下さい。



答弁 西部地区は平成23年3月に工事完了予定で、その後5年間の事務処理期間がありますが、「まちづくり協議会」を今年の12月までに再編し、地元の方の要望を把握し整備を進めていきます。（4回の質問で得られた最終答弁です）

3. 市長も最重点施策に挙げている、次代を担う子どもたちの安全について

質問 危険通学路への深谷市としての対応は？

答弁 学校、PTAから直接の連絡や自治会長さんからの情報を基に現地を確認後、実施の可否を報告しています。今後も進捗状況を把握し事業の停滞を招かない様努力していきます。

質問 子ども110番の家の実態と誰がどう調べて、どう活用しているのか教えて下さい。電話番号は把握しておりますか？

答弁 今現在市内には3984軒の子ども110番の家がありますが、調査や活用は各单位PTAで行っていただいております。電話番号の把握はしておりません。個人情報保護の観点から、やはりPTAにお任せしております。

活動成果状況（主なもの）

- ・市内の小中学29校、全ての登下校指導時に着用する統一色のジャンパー（ビブス）を市と協力し作成中。（200着程度を予定）
- ・新しい子ども110番の家のプレートを教育委員会と協力し考案中。



知って得する 情報コーナー

深谷市では奨学資金給与条例という制度があります。この条例は進学的意思と能力を有しながらも、家庭の経済的理由により修学が困難な人に対し学資金を給与するという制度です。

その額は月額9,600円となっています。対象は高校及び高等専門学校及び中学校の後期課程在学者となります。

学校長の推薦が条件となりますが、35名の枠に対して、本年は31名の申し込みがありました。

まだまだ市民の皆様知られていない条例です。

詳しくは深谷市教育委員会 教育総務課（048-574-5811）までお問い合わせ下さい。

清水健一後援会

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ：<http://www.shimizu-kenichi.jp>（ブログ公開中）

E-mail：info@shimizu-kenichi.jp

プロフィール



昭和36年1月27日生まれ（46才）

家族構成 父、妻、子供3人（6人家族）犬（オス）1匹（名前ショコラ）

○ 埼玉県立熊谷工業高校 卒業

○ 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長

◎ 深谷市PTA連合会 会長

◎ 深谷市立花園小学校 PTA会長

○ 埼玉県立深谷高校 PTA会長

◎ 深谷市子どもサポート市民会議 副会長

◎ 花園地区青少年健全育成会副会長

○ 花園商工会青年部長

（◎は現職）